
「特集：神奈川の教育課題とその取り組み」について

大学院運営委員長
堀内 かおる

横浜国立大学教育人間科学部は、平成 12 年に神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会の各教育委員会と連携協議会を設置し、平成 24 年度には相模原市教育委員会の参加も得て、教員養成や現職教育の取り組みを推進してきた。

一方、本学教育学研究科には県下の学校に所属する教員の方々が大学院生として多数在学し、教員としての資質や授業力の向上を目指し、各自の課題を掲げて研究活動を展開している。また学部からストレートに大学院に進学し、修了後には実践的研究力を身につけた教員として、新規採用されていく者も少なくない。さらに、近い将来には、本学教育学研究科内に教職大学院設置を設置予定で、平成 26 年度には各教育委員会と「教職大学院設置のための協議会」も設置している。

こうした種々の交流を通して、神奈川県下の教育課題を各教育委員会と大学および大学院が共有し、求められる資質・能力を兼ね備えた教員の輩出に向けて今後一層の努力を重ねていく必要があるだろう。

本号では、神奈川県下の 4 つの教育委員会から、横浜国立大学における教員養成への期待や課題についてご寄稿いただいた。各教育委員会が直面されている教育の現状を理解するとともに、教員養成への期待や本学への要望を重く受け止め、これからの大学院教育学研究科の今後のあり方について検討するための手がかりとさせていただきたい。